

平成28年度 第2回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

平成28年12月22日（木）午後4時05分から午後5時15分まで
大洲市役所別館3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長		清 水 裕
大洲市教育委員会 委員長		叶 本 正
大洲市教育委員会 委員長職務代理者		西 山 千 春
大洲市教育委員会 委員		山 内 光 郎
大洲市教育委員会 委員		東 山 宏
大洲市教育委員会 教育長		二 宮 隆 久

3 会議に出席した職員

(教育委員会事務局)

(市長部局)

教育部長	井 上 徹	市民福祉部長	藤 田 修
教育総務課長	久 保 明 敏	子育て支援課長	篠 原 雅 人
教育総務課学校教育指導監	菊 池 敏 彦	(事務局)	
生涯学習課長	森 岡 照 久	総合政策部長	森 田 比登志
文化スポーツ課長	森 野 啓 二	企画政策課長	武 知 省 吾
学校給食センター所長	新 穂 哲 徳	企画政策課政策推進室長	藤 原 貴
教育総務課長補佐	隅 田 充	企画政策課長補佐	井 上 朋 昭
		企画政策課政策推進室専門員	往 田 秀 樹

4 傍聴者の数

0人

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 来年度に向けた新たな取組み（検討状況）について
- (2) 大洲市公共施設等総合管理計画について
- (3) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
清水市長	<p>3 議事</p> <p>(1) 来年度に向けた新たな取組み（検討状況）について まず、最初に「来年度に向けた新たな取組み（検討状況）について」を議題とします。事務局、教育委員会事務局より説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 武知課長・久保課長・森岡課長・森野課長〕</p>
清水市長	<p>それでは、議題1について、ご意見、ご質問等があればお伺いします。</p>
清水市長	<p>公民館耐震診断事業について、文部科学省のほうからこの事業を進めるようにということですが、具体的に補助はどうなっていますか。</p>
森岡課長	<p>都市整備課が窓口となっており、先月11月に県のヒアリングがありました。</p>
清水市長	<p>なぜこのような質問をするかということ、以前、学校耐震診断事業においてIS値により補助率が変わるということで、耐震診断が行われましたが、耐震診断には時間がかかったり、様々な問題が生じたりということがありました。今回、公民館においても同じような問題が起こるのか、また、肱南公民館や肱北公民館は大変古く、機能的にも建て替えなければならない、耐震診断しようと思えば建て替えなければならないという状況では、耐震診断は必要ないのではないかと思います。学校であれば、IS値で補助率が変わるため必要だったわけですが、公民館ではこのような基準が分らなければ、どの範囲でどの順番で耐震診断を行うかが決まらないのではないのでしょうか。</p>
森岡課長	<p>肱南公民館、肱北公民館、肱川公民館については、平成22、23年度に耐震診断を行っており、今回は、それ以外の公民館ということになります。IS値により補助率がかわるかどうかについては、確認し、進めていきたいと思っております。</p>
清水市長	<p>耐震診断とは、その建物が危ないか危なくないかを調べるものであり、その建物がある程度計画的に改修をしなければならないということが分かっている場合は、耐震診断する意味はないと思います。建て替えるこ</p>

	<p>とが決まっているから、診断結果は必要ないということになりますので、よく考えていただきたいと思います。</p>
井上部長	<p>昭和40年代に建った古い公民館については、耐震診断をする必要はないと考えています。耐震診断によって補強で対応できる分については、どの部分を補強すればよいか耐震診断で分かりますので、20年以上使用できるような建物については、耐震診断をしたいと考えております。</p>
清水市長	<p>その時には、全体として古く大きな建物から耐震診断をやっていくことになると思いますが、どの段階でどうするかという、スケジュール感を持って進めていただきたいと思います。</p>
清水市長	<p>もう一つ、教育のIT化に向けた環境整備ということで、このところが非常に心配なところであります。様々なことがIT化でできるようになりますが、実は、テレビ・ゲームといったバーチャルリアリティーとか、現実でないと分かりながら、画像からたくさんの情報が入ってくるのが子どもたちの教育発達を妨げているのではないかと私は思っております。</p> <p>読書は、少しの文字の情報を頭の中で組み立てるもので、こういった考える訓練がもっと必要だと思います。目から入ってくる情報にあまりにも過多で、それが現実かどうかの判断ができなかったり、楽しい、面白い情報だけではきっと子どもたちにとって力にならないということも起きているのではないかと思います。やはり物事を本から学ぶ子どもとは教育力のギャップがあると思います。そういった中で、今、IT化に向けた取り組みとして、教材が動いたり、回転したりと、子どもたちが喜ぶものもありますが、本当にそれが子どもたちの役に立つのか、本来、ICTを活用するのは教員が教えるために内容を整理し教材を用意するのに役立つのはよく分かるので、ぜひ考えてやっていただきたいと思います。</p>
二宮教育長	<p>昨日、中央教育審議会の答申が出ており、タブレット等のIT機器を使った教育へ完全に移行するのではなく、あくまで紙（ペーパー）を軸にし、IT機器を上手に活用していくことを検討する必要があるというものでした。教材でどのように活用するか、また、子どもたちが適正にIT機器を使えるような下地を用意することも必要だとは考えており、そういった観点で実証事業として取り組みたいと考えております。</p>
清水市長	<p>ぜひ、バランスを持って取り組むことが重要だと思います。便利だか</p>

<p>西山委員</p>	<p>ら検索で済ますのではなく、辞書で調べる訓練をしながらIT機器を活用するといった、苦勞して試みるのが大事だと思っておりますので、教育委員会においても、様々な議論していただけたらと思います。</p> <p>移住・定住の中にもありましたが、そのためには子育て支援が整った地域が理想であると考えています。先ほど説明があったアクティブチャイルドプログラムですが、外部指導者と関わったり、幼児期にみんなで感動を味わう「体験する教育」が非常に重要であるので、一人でゲームをすることでは得られない、みんなで作り上げる感動や自己表現の発育につながると思っておりますので、事業を継続できるようにお願いします。</p>
<p>井上部長</p>	<p>この事業は、教職員・保護者も大変有意義だと考えており、教育委員会としても、新年度、主催する立場で取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>叶本教育長</p>	<p>空き家に関してですが、私の地区にも空き家があり、所有者と連絡が取れない状況です。そういった場合の空き家の活用の調査はどうなりますか。</p>
<p>往田専門員</p>	<p>現在、法律で自治体が適正な管理をされていない空き家等については、必要な調査等を行うことができることとなっており、今年度から危険空き家の除却に対する補助制度を創設しております。</p>
<p>山内委員</p>	<p>危険空き家とは、明らかに倒壊しそうな建物ということですか。</p>
<p>往田専門員</p>	<p>老朽化等の度合いをはじめ、避難路をふさぐなどの状況に応じて判断されることとなっており、都市整備課において状況に応じて調査・判定しております。</p>
<p>清水市長</p>	<p>基本的には、公共的な空間に影響があるような場合は除却が必要ということですが、特に、道路をふさぐ可能性のある建物には対応が必要ということで調査、除却を進められるようになっております。</p>
<p>二宮教育長</p>	<p>2ページの移住に関する事業で、近年の市内の該当事例はありますか。</p>
<p>往田専門員</p>	<p>I J ターン事業については近年該当がありません。結婚新生活支援事業については今年度5件の交付決定を行っております。</p>

山内委員	<p>幼稚園の一時預かり事業ですが、女性の社会進出と言われながら、現実は大変厳しいと思うので、ぜひ来年度からやっていただきたいと思います。</p> <p>給食費第3子以降無料化ですが、保育所と幼稚園での格差をできるだけなくすよう取り組んでいただければ、保護者の選択肢も増えると思います。</p>
井上部長	<p>幼稚園の一時預かりについては、保育所のない地域から始め、来年度は3園を考えており、今後とも、状況を見ながら進めてまいりたいと考えております。</p>
清水市長	<p>全体としては、認定こども園のような幼保一貫の形がよいと思いますが、すぐには施設や人材の問題もありますので、幼稚園と保育所でギャップをなくすため、一時預かり事業を行っていきたいと考えています。地域に保育所がないため預けられなかった方が幼稚園へ通えるようになるなど、一歩ずつ、取り組みを始めていきたいと考えております。</p>
東山委員	<p>I T化に向けた環境整備についてですが、I C Tを効果的に活用した、分かりやすく深まる授業を実現するのであれば、大いに進めていただきたいと思います。一番大事なのは、悪用されないよう、I T機器に対する向き合い方をしっかり教えていくことだと思います。</p> <p>もちろん読書も大事なことでと考えております。</p>
西山委員	<p>子育て支援センターを3箇所から4箇所にとということですが、どこに検討されていますか。</p>
篠原課長	<p>現在、大洲児童館、徳森児童センター、大和保育所に子育て支援センターがあります。新たに、喜多児童館に子育て支援センターを設置したいと考えております。</p>
二宮教育長	<p>お願いですが、1月20日に大洲市教育研究大会が市民会館大ホールであり、講演会に東北大学の脳科学の第一人者である川島隆太先生をお招きします。スマホの利用状況と学力との関係を5年間ほど仙台の子どもたちからデータをとり、基本的な生活習慣、早寝・早起き・朝ごはんがいかに関係かということとスマホの適正な活用の仕方の具体例をお話しして下さる予定です。あらためてご案内をいたしますので、ぜひ、関係者の皆さんにも聴講していただくよう周知をお願いいたします。</p>

(2) 大洲市公共施設等総合管理計画について

清水市長

次に、「大洲市公共施設等総合管理計画について」の議題に移ります。説明をお願いします。

〔会議資料に基づき説明 武知課長〕

清水市長

それでは、何かご意見、ご質問はございますか。

山内委員

今、市民会館の市民会議に出席しておりますが、公共建築物の基本方針として延べ床面積の削減とありますが、それは駐車場を含んだ面積ですか。

武知課長

駐車場は含んでおりません。公共施設の床面積です。

山内委員

市民会館は、駐車場が今でも少ないので、少し気になって質問しました。

清水市長

あくまでも全体を見て、どの程度を改修等する必要があるのか、市が財政負担に耐えられるかも含めて検討しているもので、個別の事業は別に考えていく必要があると思います。記載のとおり面積にしなければならぬと縛るものではありません。今のままで、50年後に引き継ぐことができないので、どのように効率化するのかなどの基本であると理解していただきたいと思います。個別計画を縛るものではないので、この計画を踏まえ、よく議論していただきたいと考えております。

山内委員

例えば、市民会館を移転するとなったとき、市民会館のことだけを考えず、その跡地の利活用を含め、5年、10年という計画を考えることができないのですか。

清水市長

まちづくりのビジョンとしては跡地の議論がなければ話が進まないもので、ある程度の考え方を示さないと厳しいと思っております。個別の施設計画や地域のあり方、コストなど検討しながら、総合的な構想を示す必要があると考えております。

山内委員

市民会館のアンケートでは、肱南地区の方は今の場所での建て替えを希望している方も多いため、全体イメージが少しでも分かればいいのではないかと思います。

清水市長	機能面、場所の要件、跡地の活用という3点セットで説明することが重要だと考えております。
清水市長	<p>(3) その他 それでは、議題3のその他ということで、何かございますか。 〔意見なし〕</p> <p>特にないようですので、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
	4 教育委員長あいさつ
	5 閉会